岩崎観世音百八灯祭

8月6日(土)、今市地域岩崎にある岩崎観世音で3年ぶりに百八灯祭が行われ、参道を多くの行灯が照らし出す幻想的な夜となりました。

行灯には落合東小学校の児童による絵が描かれており、一つ一つ異なる絵柄を見て楽しんでいる参拝客の姿が見られました。

また、子授けのご利益があることで有名な岩崎観世音では、「子宝を祈願した卵をもらい受け、願いが叶ったらお礼に卵を倍にして返す」風習が約450年前から続いており、今回も卵の配布を行いました。

矢嶋秀男代表は、「地域の小学生や住民の方々の協力により開催できました。子授け観音の伝統が永代続いてほしいです」と話してくれました。

境内から見下ろした参道

参拝に訪れた家族

SL 5周年セレモニー

8月10日(水)、鬼怒川温泉駅前広場でSL大樹運行開始5周年記念セレモニーが開催され、下今市駅前に設置予定の全長8メートルの巨大チョークアートが披露されました。

作品を制作したチョークアーティスト堀田実希さんは「みんなが笑顔に、明るくなれるように願いを込めて作りました」と話しました。

堀田さん(左)と制作したチョークアート

被爆ピアノコンサート2022・夏

8月11日(木・祝)、日光街道ニコニコ本陣で被爆ピアノコンサートが開催されました。

今回、使用された被爆ピアノは、77年前に広島で爆心地から3km圏内で被爆したもので、全国で被爆ピアノの演奏会を行う活動をしている、矢川光則さんの修理や調律で音が出るようになったものです。コンサートでは矢川さんのお話や、今市少年少女合唱団と仲間たちの合唱、市内在住のソプラノ歌手、竹澤奎季さんによる昭和の名歌の演奏が行われ、訪れた観客たちは平和を思いながら美しい音色に耳を傾けました。

矢川さんは「コンサートを通して、子どもたちが平和を考えるきかっけにしてほしい」と話しました。

被爆二世で調律師の矢川さん

被爆ピアノの伴奏で
「ちいちゃんのかげおくり」を合唱

ピアノ寄贈記念 熊本マリコンサート

8月23日(火)、下司愉宇起さんが大沢公民館へピアノを寄贈した記念として、ピアニスト熊本マリさんのコンサートが開催されました。

情熱的な演奏を披露した熊本さんは「人間のようにピアノも同じものは1台とない。皆さんも生の音楽を楽しんでほしい」と話しました。

10代を過ごしたスペインにちなんだ
楽曲を中心に披露し、観客を魅了

フレッシュ青春（あおはる）コンサート

8月20日(土)、日光田母沢御用邸記念公園において、「フレッシュ青春コンサート」が開催されました。

この日は、県内の園児から大人までが所属する「マリンバンビーノ」によるマリンバ演奏が披露され、会場となった総檜（ひのき）造りの研修ホールには、迫力あるマリンバの音色が響き渡りました。

大勢の聴衆が聞き入ったマリンバの共演

オオハンゴンソウ等外来植物除去作業

7月30日(土)、「オオハンゴンソウ等外来植物除去作戦」が日光湯元スキー場周辺と菖蒲ヶ浜スキー場跡の2カ所で行われました。

もともと奥日光に自生していなかったオオハンゴンソウやフランスギクなどの外来植物は、在来種を駆逐する勢いで広範囲に繁茂してしまっており、本来の生態系を取り戻すためには、継続した除去が必要です。

奥日光では、昭和51年からボランティアによる除去作業を行ってきましたが、今年もさまざまな団体から約280人の参加がありました。

日光明峰高校から参加した杉江（すぎえ）晃導（あきみち）さん(2年)は、「大変なことですが、日光の自然を守っていきたい」と話し、作業に汗を流していました。

除去した外来植物を搬出する参加者

作業に励む日光明峰高校の生徒たち

まちのほっと NEWS

第72回「社会を明るくする運動」日光市推進委員会開催

7/1

犯罪や非行の防止と更生について理解を深め、安心安全な明るい地域社会を築くための運動である、第72回「社会を明るくする運動」日光市推進委員会が開催されました。保護司や協力団体などの代表者である推進委員30名が出席し、内閣総理大臣メッセージが宇都宮保護観察所から伝達されました。

安西（あんざい）統括保護観察官(左)

提供：総務課

市へ500万円の寄附

7/7

瀬川在住の髙橋隈（たかはしたかし）氏から、市へ500万円の寄附があり、粉川市長は髙橋氏へ感謝の言葉を伝え、感謝状を手渡しました。髙橋氏は「寄附金は、コロナ禍で学校生活やスポーツ少年団・部活動の制限を余儀なくされた小中学生が、スポーツを楽しむために活用してほしい」と話しました。

感謝状を手にする髙橋氏(右)

提供：スポーツ振興課

身近なニュースを募集しています　詳しくは秘書広報課シティプロモーション係まで　☎0288-21-5135